

主にメーカーの試作開発を担う  
広陽商工株式会社より独立し、  
VRやARをはじめとした  
最先端領域のコンテンツ制作を担う  
コーヨー株式会社。  
近年注目が集まる  
仮想空間「メタバース」の  
開発にも着手している  
代表取締役の三尾友貴美さん  
お話を伺いました。

## コーヨー株式会社

代表取締役・MIO YUKIMI

三尾 友貴美さん

### Company Data | 会社概要

コーヨー株式会社

[創業] 2020年  
[所在地] 名古屋市西区那古野2-14-1  
[TEL] 090-2349-6803  
[URL] <https://koyo-xr.com>  
[事業内容] VR・ARなどデジタルコンテンツの  
企画・制作



# 最先端テクノロジーを活用し 地域社会の発展に貢献する

## 最先端のデジタル領域へ 積極的に参入し、 事業の幅を広げていく

当社は、主に自動車部品の試作や試作  
用の材料提案を行なう「広陽商工株式  
会社」より、一部機能を切り分ける形で  
2020年に創業しました。現在試作  
開発の現場では、試作品を制作するにあ  
たって3Dデータを制作し、<sup>※1</sup>VRで形状  
を確認するという流れが増加傾向にあ  
ります。この時流に乗ってデジタルコンテ  
ンツ制作に特化した事業を行なうべく独  
立しました。

主な事業内容は、試作品に関する  
VR・AR用<sup>※2</sup>データ制作のほか、裾野を  
広げて異業種のオリジナルアプリの開発  
も手掛けるなど、デジタルコンテンツ全般  
の企画・制作を行なっています。特に、試  
作品制作の現場で培った「ゼロからのモノ  
づくり」を強みとし、デザインラフや具体  
的な完成イメージがなくとも、お客様か  
らしっかりとヒアリングし、その想いを形

にします。また、ニーズに応じた細かなカス  
タムも承ります。これらの特性を活かし、  
異業種で初めて制作したオリジナルコン  
テンツが「バーチャルお仕事体験」です。  
これは子供向けのイベント用に制作した  
もので、「かんな削り」と「麵切り」の2種  
類を体験していただけます。VR上でコ  
ントローラーを操作した際の没入感や  
気持ちの良い操作感が受けて、体験され  
た方からは大変ご好評いただきました。

私が経営者として常に心がけている  
のは、新規事業の開拓や異業種への参入  
など新たなビジネスチャンスに向けて積  
極的に行動することです。そのため、幅  
広く様々な業種・業界からの情報収集が  
欠かせません。その一環として、名商の  
事業は日頃から大いに活用しています  
し、「なこのキャンパス」でのユニークな  
ベンチャーやスタートアップとの交流も  
大切にしています。

※1 仮想現実の意味。専用のゴーグルを360度の映像を映し、  
あたかもその空間にいるかのような感覚が得られる技術。  
※2 拡張現実の意味。現実世界にバーチャルな視覚情報を重  
ねて投影し、現実を拡張する技術。



当社グループにおける事業の柱は、自動車関連部品の試作品開発です。3Dプリンタを用いて試作品を制作するほか、VR上のデジタルデータの制作も行ないます。そこから派生して、当社では、建物内の間取りやレイアウトイメージを確認できるアプリ(左下写真:アプリを使用し、3Dプリンタを室内に配置)や、バーチャル空間で仕事を疑似体験できるサービスなど様々なデジタルコンテンツを制作しています。



＼ 社名の由来 /



親会社の広陽商工は、材料商社としての商社機能と、試作開発会社としてのメーカー機能の2つを持ち合わせているため、「商工」と名乗っています。当社はデジタルコンテンツ制作会社として独立したため「広陽」のみを継承し、IT業界に多いカタカナ表記としました。

＼ 愛用のアイテム紹介 /

シャコ万力



試作品制作の過程で、型に樹脂を流し込んだ後固定する際に用いる工具です。現在は3DプリンタやVR上での試作が増加したためあまり使わなくなりましたが、見るだけで初心を思い出す大切な仕事道具です。

＼ 仕事で大切にしていることは /

笑って仕事をしよう

笑わないと仕事楽しくないですし、楽しまないと面白いアイデアが思い浮かばないと考えているからです。そのため直近では、親睦とアイデア収集を兼ねた、東京の展示会を視察する日帰り社員旅行を計画しています。

D X時代の  
経営課題を解決する  
サービスを構想



中小企業を対象とした  
低価格なメタバース空間の  
開発に着手

当社が取り扱うデジタルコンテンツは、近年のDX化の潮流を受け、今後ますます需要の伸張が予想されます。しかし中小企業からは専門知識の不足や高額な開発費用などがネックとなり、何から導入を進めるべきか分からないとの声を多く聞きます。そこで現在注力している事業が、低コストなメタバース「プチバース」の開発です。

メタバースは、デジタル空間に構築された3次元の仮想世界です。映画やゲームで目にした方もいると思いますが、すでにビジネスシーンでの活用も始まっています。例えば、メタバース上で就職活動が行なわれ、アバターによる面接や説明会が開催されるなどの実証実験も進んでいます。しかし開発には数千万単位の費用がかかるため、大企業を除いては、参入障壁が高いのが実情です。そこで当社は、中小企業向けに数十万〜数百万を目安とした安価なメタバース空間を提供したいと考えています。必要な機能などは、中小企業の方と一緒に考え、皆さんの声を集めて理想の空間を創造していきたいです。勉強会も開催しますので、ご希望の方はぜひお知らせください。そして、プチバースの導入が中小企業の本格的なメタバース市場への参入のきっかけになればと思っています。メタバースへの参入を希望される方には、当社が橋渡し役も

担ってまいります。

この他に現在当社グループでは、3DプリンタとVRを組み合わせた試作開発のトータルソリューションに注力しています。従来、試作品の制作はケミカルウッドと呼ばれる素材を削って型を作り、そこに樹脂を流して成形する工程が一般的でした。しかし、3Dプリンタを使えば型の制作が不要で、開発スピードや費用の面で大きなメリットがあるため、現在企業への導入を推進しています。ご要望に応じて当社が実制作前にVRデータを制作し、より工数と費用を削減することを可能にします。お客様の試作開発を複合的にサポートできる体制があるため、3Dプリンタの導入後も当社に試作品の発注をいただけて、グループとして利益の好循環が生まれています。

また当社は、「企業は地域に貢献してこそ」との創業者の想いを受け継ぎ、事業活動と並行して地域奉仕も積極的に進んでいます。これまでに私は女性会員のみで構成された社会奉仕活動団体「春日井さくらライオンズクラブ」の会長として、献血や、介助犬の見学会、図書寄付などを実施してきました。2020年に実施した「国際平和ポスター展」では、当社のVR技術を用いてオンライン上で作品展示会を開催するなど、自社の強みを地域社会に還元できたことも大変嬉しく感じています。また、現在試作中の「プチバース」についても、将来的には不登校に悩む小中学生が相談・交流を行なう場として、役立てられればと考えています。

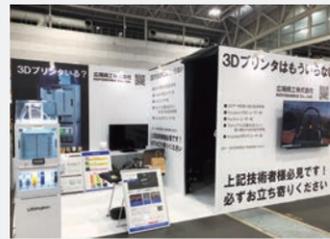
企業の成長と  
社会貢献を両立する  
新規事業を立ち上げたい

地域社会への貢献は責務だと考えているため、今後も、社会課題の解決の一助となるコンテンツ制作を進めていきます。他地域で、孫から一目置かれる存在を目指し、eスポーツのシニアプロチームが発足した例もあるようにシニア世代にも注目しています。当社のプチバースも、子・孫世代と高齢者をつなぐ架け橋として利用してもらえないか検討しています。高齢者はデジタルに関する知見がない方も多く、運営のハードルは高いですが、人口の多い高齢者を対象にプチバースを広げていく価値は十分にあります。コンテンツの具体的な内容や運用時期は未定ですが、利用者の要望に合わせてユーザー目線で最適なプランを考えてまいります。



試作のトータルソリューション

お客様のご要望に最適な素材・工法を選定し、デザイン提案から試作までトータルで開発をサポートします。これは2年前に試作したプライベートジェット機の座席で、ラスベガスの展示会にも出展しています。



メッセナゴヤ2022

3Dプリンタの展示・体験・販売を実施します。過去に出展した際にも様々な業種の方に興味を持っていただき販路が拡大したほか、新たなビジネスのアイデアを得る場としても活用しています。



国際平和ポスター展

春日井市内の小中学生が描いた、平和をテーマにした作品を展示する絵画展。2020年は新型コロナの影響により開催が危ぶまれましたが、当社のVR技術を駆使しオンライン開催を実現しました。



建設技術フェア2022in中部

今年10月初めて出展。VRゴーグルを通してマンションのモデルルームを内覧できるソフトを開発し、体感していただきました。この展示をきっかけとした建設・不動産業界への参入を目指しています。